

共進会の実施など
うまい米づくり運動の方針決まる

新潟県知事を長とし、昨年より発足した「新潟米」生産推進委員会では、米主産地としての新潟県の地位を一層高め農業所得の増大と安定供給をはかるために昨年不十分であった良質品種の作付統一や収穫期前頭の水管理・施肥等栽培技術の適正化を中心とする本運動の趣旨を広くPRすると云う方針にもとづき、与板町農業関係指導

- ①県奨励品種の作付目標及上位等級米生産目標等の設定
②良質米生産共進会の開催まず第一点の県奨励品種においては、県が考へておいた目標九〇%に対し昭和四十五年の実績が九二%と目標をも上廻つて、当町ではコシヒカリ、越路早生等の作付面積を伸ばすよう推進する。一方上位等級米（三等米）生産目標は県が八〇%に対し、四十五年実績が五八%

とかなり下廻つて、行なう尚これらの他関連事業等の推進に当つては農家組合長会議等を中心広くPRしていく考え方を決定しました。

農業青年が他産業の見学

大島日報与板支局さんの案内大島日報与板支局さん、新潟市内の主として近代機械を使用している所を見てきました。他産業の進んでいます。又、ゴミのあるところに野ネズミ、モグラが巣を作り、その穴が大きくなり堤防がわれます。川にゴミを捨てないで下さい。

河や堤防にゴミを捨てないで下さい。みんなできれいにしましょう。

河川管理について皆さんの協力をお願いします。堤防が死んでしまいます。堤防に穴を掘つたり、畑にしたり、又物を置きつ放しにしたり、物を建てたりしないで下さい。堤防が死んでしまいます。堤防がコワレルよなこと

川はいつもきれいに
ゴミを捨てたり堤防をこわさないで！

◎ゴミを捨てないで下さい。
汚いばかりでなくゴミのた

堤防等河川の施設が洪水等により災害をおこさないで十分なはたらきができるよう常に維持修繕を行なつておりますが堤防は皆さんの生命財産を守る大切な公共用物です。河川管理は皆さんの命

供給をはかるため昨年不十分であった良質品種の作付統一や収穫期前頭の水管理・施肥等栽培技術の適正化を中心とする本運動の趣旨を広くPRすると云う方針にもとづき、与板町農業関係指導

機関で組織した与板町うまい米作り運動推進協議会を先般開催し、今年度の推進内容を協議し次のような方針で推進する事に決定しました。

河田与志春会長以下十四名が山田与志春会長以下十四名が大島日報与板支局さんの案内大島日報与板支局さん、新潟市内の主として近代機械を使用している所を見てきました。他産業の進んでいます。又、ゴミのあるところに野ネズミ、モグラが巣を作り、その穴が大きくなり堤防がわれます。川にゴミを捨てないで下さい。

河や堤防にゴミを捨てないで下さい。みんなできれいにしましよう。

河川管理について皆さんの協力をお願いします。堤防が死んでしまいます。堤防が死んでしまいます。堤防が死んでしまいます。堤防が死んでしまいます。

河川管理は皆さんの命

供給をはかるため昨年不十分であった良質品種の作付統一や収穫期前頭の水管理・施肥等栽培技術の適正化を中心とする本運動の趣旨を広くPRすると云う方針にもとづき、与板町農業関係指導

機関で組織した与板町うまい米作り運動推進協議会を先般開催し、今年度の推進内容を協議し次のような方針で推進する事に決定しました。

No. 60 6月号



夏に負けない体力を

釣り糸をたれ、自然の中でのんびりするも一方

六月は一日の「あゆの解禁」に始まり、いよいよ夏を迎えるシーズンです。

彼岸すぎから、しだいに長くなってきた昼間の時間も二十二日の夏至の日に最も長となります。

毎年夏に入ると体力不足から不調を訴える人が多くありますが、たまには自然に入りのんびりと釣り糸をたれ銳氣を養うことも体力づくりの一方かと思います。

| 人口の動き | |
|-------------|---------------|
| 5月30日現在 | |
| ()は4月末との比較 | |
| 人口 | 7,992人 (+ 6人) |
| 男 | 3,874人 (+ 4人) |
| 女 | 4,118人 (+ 2人) |
| 世帯 | 1,806 (- 2) |
| 出生 | 10人 |
| 転入 | 24人 |
| 死亡 | 3人 |
| 転出 | 25人 |

5月30日現在
()は4月末との比較
人口
男 7,992人 (+ 6人)
女 3,874人 (+ 4人)
世帯 4,118人 (+ 2人)
出生 10人
転入 24人
死亡 3人
転出 25人
おもな内容は
昭和四十五年の
交通事故の実態 2
六月二十七日は
参議院議員選挙の投票日 2
非常呼集方式で消防演習 3
所得税の予定納税の通知 3
予防接種をうけましょう 4
与板の歴史をたずねて 5
川をきれいに 6
うまい米づくり運動の
方針きまる 6

昭和46年6月10日 ■発行／与板町（代表者与板町長川上文平） ■編集 与板町だより編集委員会



